

12

漂着物しらべ

海岸に流れ着くもの

12

漂着物しらべ

■活動時の注意事項

漂着物調べは、危険なもの、正体の分からないものがあるなど、危険を伴います。また、清掃活動と一体的に実施することが基本となります。

◆採取時の注意

触ると危険な物（金属・ガラスの破片など）、気をつける物（種類の分からない生き物など）を、事前に確かめておくことも重要です。指導人員を確保できる場合（児童5～6人に1人程度）には、児童の探究心や遊び心を活かして楽しく行います。

- 必要な道具：軍手、大きなカゴ、ビニール袋、割り箸（手で触れられない場合）など。

◆分類の例の提示

大きく自然物と人工物に分けることができますが、アートなどに使うときにはそのような分類は必要ありませんし、ごみの区別も個人で異なる場合がありますので、まず危険物の確認を行い、その後は児童の考え方任せることも大切です。

<分類例>

- 自然の物—樹木、動物、海藻、貝類
- 人工物—人が捨てた物、ごみになった物
- アートなどに使える物、使えない物

■活動後の注意

清掃活動と一緒にに行う際には、ごみの処理方法を事前に自治体に確認してから実施する必要があります。また、持ち帰る物の判断なども、児童とともに考える必要があります。

◆活動後の処理について

●ごみとして処分する方法

一度大きな袋などに集め、通常のごみ分類などの作業を行います。分類にあたっては、拾った児童が漂着物の説明をするなど（なぜ拾ったか、漂着物の特徴など）、学習活動の一部として行う必要があります。

●その場に置いていく物

生き物やその場で自然に分解すると考えられるもの、他の動物の餌や栄養になるような物は、その場に置いていきます。

●持ち帰ってもよい物

漂着物アートなど、利用目的をはっきりさせて持ち帰ります。そうしないと、またごみになってしまふ可能性があります。

◆処理についての問い合わせ先

- ごみの処理については、近隣の清掃センターにお問い合わせください。

<岩沼清掃センター>

岩沼市南長谷字山小屋74-36 TEL:0223-24-0868

<亘理清掃センター>

山元町高瀬字杉田2-1 TEL:0223-37-4611

■漂着物について

海岸の漂着物には、川から流れてきた物、外国から流れてきた物、海岸・海で発生した物、船から捨てられた物などがあります。

◆漂着物の内容

- 川からの物：洪水時には大量の流木やごみが一斉に海まで流れ出て、沿岸流により海岸に流れ着きます。この中には、不法投棄された家電製品などの大型ごみもあります。
- 海外からの物：ペットボトル、空き缶、生活雑貨などが流れています。
- ごみ処理の問題：所有者が分かるものは所有者の負担で処理しますが、ほとんどの場合は、不法投棄された物と同様に自治体の費用で処理されています。

海岸漂着物ワースト5		
1位	プラスチック破片	17.4%
2位	発泡スチロール破片	15.9%
3位	タバコのフィルター	14.9%
4位	ガラス陶器破片	3.7%
5位	カキ養殖用パイプ	3.2%
	その他	44.9%

*「クリーンアップキャンペーン2000REPORT」より

■漂着物調べの学習展開例

◆生活や野生生物への影響を考えるきっかけ

漂着物は、水質汚染、海岸の汚染、船への影響、漁網への影響など、人間の活動に大きな影響を与えるとともに、海岸や海で生活している魚や野鳥が誤って食べてしまったり、釣り糸などが足や体に絡んでしまうなど、生き物への影響も大きくなっています。

◆他の学習分野への発展

海を通じた海外との共通問題、交流の可能性などへ学習を発展させる材料になります。

- ・地球環境問題：地球規模での海洋保全の取り組みについて
- ・生態系保全：国際的な取り組みの中での渡り鳥や回遊魚への影響について

■活動団体

仙台湾南部海岸で海岸美化活動に取り組んでいる団体を紹介します。

<鳥の海の環境を守る会>

●活動内容：

1. 鳥の海周辺の魚死骸の投げ捨て禁止の徹底指導・2. 鳥の海湾を自然で環境のよいところにしよう・3. 釣り針、テグス糸の回収と放棄による事故防止を徹底しよう・4. ポイ捨て禁止、空き缶、ビン、ペットボトル、ゴミの一掃作戦・5. 鳥の海の定期的な水質調査

●連絡先：

「鳥の海の環境を守る会」 会長：齋藤 邦男 TEL:0223-35-3386 携帯電話:090-8250-3876

※「鳥の海の環境を守る会」では、総合学習などへの講師派遣ができます。

■海の豆知識 – ビーチコーミング

「ビーチコーミング」とは、海岸をくしけする（コームは櫛のこと）ように、丹念に見て歩き、海岸に落ちている様々な物を観察したり、南の島から流れてきた木の実や美しい貝殻などを拾い集めたりして楽しむ野外活動のことをいいます。

一方、日本では昔から、海流や季節風に乗って流れ着いたいろいろな物が生活に利用されていました。例えば、流木は燃料（薪）として貴重な物でしたし、新鮮な魚介類や海藻が打ち上げられれば食卓のおかずになりました。漂着物の多い海岸では、最初に見つけた人に権利があるとされ、すぐに持ち帰れないような大きな物に付ける目印が決まっていたそうです。